

第1章

時間の戦争がはじまっている

- 文明砂漠 に緑を取り戻すには 10
未来にしかけた時間の戦争 12
悪魔の二者択一 16
ファンタジーという救い 19
希望という徳 21
種を蒔く聖フランシスコ 25

第2章

エッセイ「文明砂漠」

—ある中央ヨーロッパ先住民の思い

エンデの文明砂漠 28

「ある中央ヨーロッパ先住民の思い」 32

CONTENTS

アインシュタイン・ロマン

第6巻 ● エンデの文明砂漠

第3章

心の中に砂漠がある

- 見えない環境問題 52
- 特別居住区というオアシス 57
- 子供こそ未来 62
- 創造力は人間の存在証明 64
- 少年エンデの好奇心 67
- 1+1への驚き 69
- 一本の木に何を見る 72

第4章

科学という現代神話

- 現代人の四方拝 78
- 二つの真実への分裂 80
- 世界は一冊の本 86
- 意識と現実 88
- 暗闇から生まれるイメージ 92

第5章

アインシュタインを考える

第6章

価値を入れた科学の創造

天才科学者の孤独 98

量子力学とアインシュタイン 101

平和と自由 104

殉教者アインシュタイン 107

アインシュタインの創造性モデル 112

アインシュタイン自身の創造性の秘密 119

創造性はどこからくるのか？ 122

現代人の使いわける二つの真理 128

新しい科学への提言 130

科学的思考では責任が取れない？ 136

「事実」と「現実」 140

第7章

エンゲルの生きた二十世紀

ナチズムへのレジスタンス運動 146

ヒトラーを見る 152

画家としての父、作家としてのエンゲ 153

父の描いたエンゲの夢 157

闇と光の二元論 161

量子力学の哲学的意味 165

月と太陽 168

第〇章

新しい意識が必要だ

鏡に映る自らの意識形態 172

最後まで考える科学 173

人は何によって知覚するのか 175

創造によってのみ生まれる未来 179

終章

友人としての日本人へのお願い

日本で進行する文明砂漠化 184
経済大国日本への提案 186

